

## 奈良県立医科大学および関連施設における泌尿器科専門医養成プログラム

泌尿器科は、主に尿路と男性生殖器に関連する多様な病態を取り扱う専門診療科であります。また腎移植も重要なテーマであり、慢性腎不全に対する治療として血液浄化療法の診療も取り扱います。従ってこのプログラムに参加する泌尿器科医には、医師としての基本的能力のうえに、専門的職業人としての一定水準の経験、技術、知識と、より高い倫理性が要求されています。

泌尿器科学の進歩は全ての領域で急速に発展してきており、泌尿器科専門医に求められる知識と技術の水準は時代と共に刻々と変化していきます。また、同時に乳幼児から超高齢者までを対象とすることから、倫理観の高い豊かな人間性が求められています。2004年時点で日本の泌尿器科医は約7000余名であり、領域の広さからすると泌尿器科医の絶対数を大きく不足しています。日本では能力のある泌尿器科医を求める医療施設は数多く、信頼される高い知識と技術を修得している泌尿器科医は高く評価されています。

本プログラムは、2年間の卒後臨床研修を終了し泌尿器科医をめざす医師を対象としたもので、奈良県立医科大学泌尿器科およびその関連施設における4年間の専門医教育の具体的内容を定めたものであります。この教育プログラム終了時点で、日本泌尿器科学会専門医ならびに日本透析医学会認定医を取得出来るよう養成します。同時に奈良県立医科大学泌尿器科専門医養成コースを修了した泌尿器科医は日本のトップクラスと評価されるよう教育プログラムの運営を充実させ、さらに発展させます。

### 1. 本プログラムの実施組織

奈良県立医科大学泌尿器科を本プログラムの管理と実施拠点とし、それに専門医養成プログラムを実践する複数の専門医教育施設が本プログラムを実施します。

奈良県内：県立奈良病院、済生会中和病院、大和高田市立病院

大阪府内：星ヶ丘厚生年金病院、きっこう会多根総合病院

三重県内：厚生連松阪中央病院

### 2. 本プログラム参加資格

1) 医師国家試験合格後、卒後臨床研修プログラムを終了したもの。(平成15年以前に医師国家試験に合格した医師に関しては、この限りでない。)

2) プログラム責任者などの面接によって合格したもの。

3) 受け入れ定員を超える応募のある場合は、判定試験によって決定する場合がある。

### 3. 定員

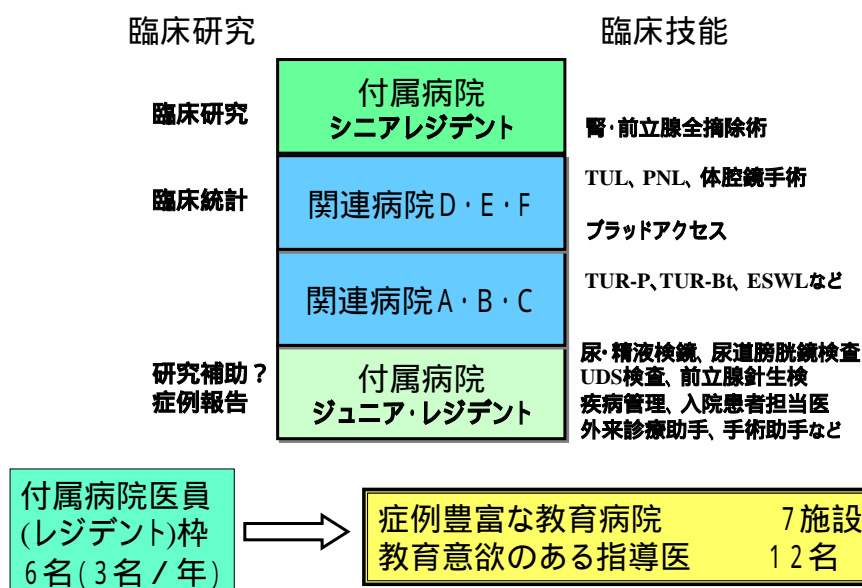
受け入れ定員は、責任ある研修を実践するため基本的に3名とします。

#### 4. 研修方法

##### 1) 研修方法全般

研修期間は4年間であり、前期修練(2年)と後期修練に(2年)に分かれ、前期と後期のうちそれぞれ1年間は奈良県立医科大学付属病院での研修を必須とします。教育にあたっては、1名に対して1名の指導責任者と複数の日本泌尿器科学会指導医(日本泌尿器科学会認定)が責任を持って指導します。プログラムの概略を以下に記します。

### 泌尿器科専門医修練プログラム



##### 2) 具体的研修方法

(1) 研修病院において指導医は以下の教育機会を提供します。

週1回以上の患者回診

週1回以上の症例検討会(画像カンファレンスを含む)

月1回以上の抄読会もしくはセミナー

年1回以上の泌尿器科学会提供の教育プログラムへの参加

年2回以上の泌尿器科関連学会(単位認定学術集会)参加

4年間で1編以上の臨床論文作成(症例報告を含む)

(2) 前期2年においては指導医の直接管理下での教育を受けることを原則とする。すなわち、指導医の監視のもとに外来診療に従事し、指導医とともに主治医となって入院患者の診療にあたる。

(3) 後期2年において指導医は主に間接的な立場で指導にあたる。すなわち、指導医と密

に連絡をとりながら自ら外来診療に従事し、主治医となって入院患者の診療にあたる。

(4) 評価方法:日本泌尿器科学会ならびに日本透析医学会の専門医・認定医試験に準ずる。  
(それぞれの学会の要項を参照)

(5) 経験すべき泌尿器科手術と手術件数

泌尿器科領域は広く領域として外科治療が必要な領域と内科的な治療が主体となる領域など多彩な診療領域を含みます。専門医養成プログラムにおいては、将来志望する領域にかかわらず、泌尿器科学の全領域を修練することを目標とします。泌尿器科学が外科を基本とすることはいうまでもなく、従って全員に外科の修練を必須とします。泌尿器科手術には内視鏡治療が必須で、将来的には泌尿器科手術の大半が体腔鏡手術になることが予想され、体腔鏡手術を含む内視鏡操作の習得も必須であります。2004年度から内視鏡外科学会、日本泌尿器科学会、日本EE(Endourology-ESWL)学会による「内視鏡手術技術認定制度」が導入されており、この認定も目標の1つになります。奈良医大関連施設の年間手術から、専門医を目指す泌尿器科医が養成コース修了までに経験すべき主な手術の目標を以下に記します。

#### 奈良泌尿器科専門医養成プログラムの 4年間累積目標到達手術件数(術者)

TUR-P	50例
TUR-BT	20例
AVシャント術	20例
根治的腎摘出術 / 根治的腎尿管全摘除術	15例
根治的前立腺摘出術	10例
計	115例